

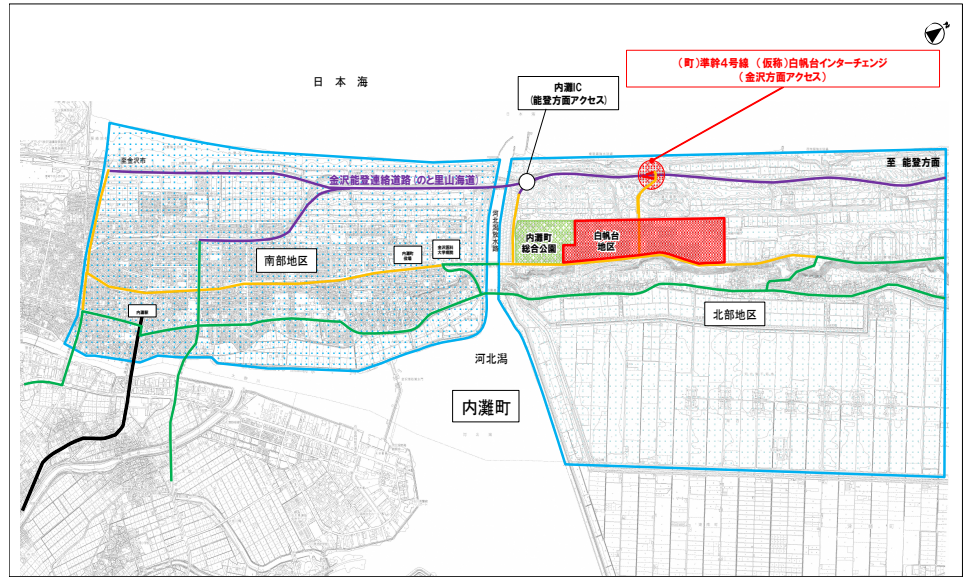
## 再評価結果（令和2年度事業継続箇所）

担当課：道路局 環境安全・防災課

担当課長名：渡辺 学

事業名：地域高規格道路 I C アクセス 町道準幹4号線（仮称）白帆台 I C	事業区分：地方道	事業主体：石川県内灘町
起終点：自：石川県河北郡内灘町字宮坂 至：石川県河北郡内灘町字宮坂		延長：0.4km
事業概要：町道準幹4号線は、地域高規格道路 金沢能登連絡道路の（仮称）白帆台 I Cへ接続し、内灘北部地区から金沢方面へのアクセス性の向上や住民生活の安全・安心を図るアクセス道路整備である。		
H28年度事業化	都市計画決定なし	用地取得箇所なし
全体事業費：約10億円		事業進捗率：約70%
計画交通量：2,800台/日		供用済延長：— km
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 1.3  (残事業) 1.3	総費用：(残事業)/事業全体 12/12億円 (事業費：10/10億円) 維持管理費：1.4/1.4億円
		総便益：(残事業)/事業全体 15/15億円 (走行時間短縮便益：14/14億円) (走行経費減少便益：0.01/0.01億円) (交通事故減少便益：0.66/0.66億円)
基準年：令和元年度		
感度分析の結果 (事業全体) 交通量：B/C=1.2~1.4(交通量 ±10%) (残事業) 交通量：B/C=1.2~1.4(交通量 ±10%) 事業費：B/C=1.2~1.4(事業費 ±10%) 事業費：B/C=1.2~1.4(事業費 ±10%) 事業期間：B/C=1.2~1.3(事業期間±20%) 事業期間：B/C=1.2~1.3(事業期間±20%)		
事業の効果等 ①交通の利便性向上による北部地区の定住促進 のと里山海道への接続による交通の利便性向上により内灘町北部地区での、さらなる人口増加や定住促進を図る ②道路ネットワークの充実による災害時の避難経路拡大 のと里山海道（第1次緊急輸送道路）に接続することで、災害時の避難・救助活動に寄与 ③金沢方面のアクセス向上による既存施設の利用促進 金沢方面から内灘北部地区へのアクセス向上により、権現森海水浴場等の北部地区の豊かな自然、内灘町総合公園内のスポーツ・レクリエーション資源の利用促進に寄与		
関係する地方公共団体等の意見 ・地域住民で構成される北部開発促進協議会等から、本事業の早期完成の要望がある。 ・「内灘町北部地区基本構想」（H29.3策定）の主要事業に位置付けられている。		
事業評価監視委員会の意見 事業継続を妥当と認める		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・内灘北部地区における人口の増加（約3%増、H28：4,223人→H30：4,353人） ・白帆台小学校開校（H30.4）		
事業の進捗状況、残事業の内容等 用地取得率100%、事業進捗率70%		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 今後は早期完了を目指し、舗装工、安全施設工等の工事を推進していく。		
施設の構造や工法の変更等 今後も新技術の採用や工法の見直しによる工事コストの縮減等、総コストの縮減に努めていく。		
対応方針		事業継続
対応方針決定の理由 事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。		

# 事業概要図



- ※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
- ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。